

令和5年9月3日

芦屋市 企画部 市長公室  
市民参画・協働推進課  
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

第16回あしや市民活動フェスタ 未来をつくるたぶん100人会議  
あなたのやりたいことコミュニティ・ビジネスプレゼンテーション大会事業報告書

- 1 日 時：令和5年9月2日（土）13：30～16：30
- 2 担 当：二宮毅行 文責：出口
- 3 参加者：55名…来賓：3名、講師：1名、視聴者：28名、途中参加：12名、  
プレゼンター：9名、メディア：1名、ボランティア：1名、
- 4 講 師：梅山晃佑さん（プロジェクトコンサルタント）
- 5 目 的：芦屋市における地域課題の解決や地域資源の活用などのコミュニティビ  
ジネスプランをプレゼンテーションし、より多くの地域の方々に知る、  
理解する、共感する、応援・支援に繋げ、「できる」に繋げる。
- 6 内 容：以下の流れで実施した。
  - ・コミュニティビジネスプチセミナー（講師：梅山さん）
  - ・コミュニティビジネスプレゼンテーション大会 @7分×8組
  - ・投票と集計、講師からの総評、結果発表と賞状授与、交流会
- 7 投票結果：有効投票総数…80票（1人につき2票を投票）
  - ・グランプリ…廣田 輝代（ブランディング芦屋）23票  
新たな芦屋ブランドの創生で世界に誇れる住宅都市を実現！
  - ・準グランプリ…松井 有里加・金子 文恵 19票  
産前産後ママのための「ととのう」サポート
  - ・第3位…川村 陽子 17票 自分史づくりで「希望」ある終活支援
  - ・第4位…白濱 元輝（芦屋国際中等教育学校6年生）8票  
「その人を、その人として見る」ことのできる社会をつくる
  - ・第5位…刀谷誠 阿部倫太郎（一般社団法人スポーツウェルネス）5票  
インクルーシブスポーツ“ボッチャ”でつくる共生社会
  - ・第6位…大塚 茂（芦屋ラグビースクール）4票  
地域で盛り上がる芦屋ラグビースクールの仕組みづくり
  - ・第7位…五十嵐 香里（ヒトハナ）2票（同率）  
配偶者との関係で衰弱した女性を元気に！
  - ・濱脇 久（ADLAアーキテクチャ）  
住宅・インテリアのデザイン提供システムスタートアップで街づくり

## 8 メッセージ

- ・自分史づくり 共感します。ありがとうございます。
- ・私も自分史を書いてみたいです。
- ・みなさん、すてきな取り組みだと思いました。ただ、もう少し収益面での展開を教えてもらえたらうれしかった。
- ・阿部さん：共生社会に対する話をもっと強くしてほしい。五十嵐さん：プレゼンターのパフォーマンスが主にしかみえなかった。大塚さん：もっとゆっくり話してほしい。話の効果がみえなかった。濱脇さん：話し方に魅力がなかった。廣田さん：業平の目的が伝わってこない。特に何がしたいのか。川村さん：気持ちはわかるが心が動かない。白濱さん：夢は伝わりましたが、説得力に欠ける。松井さん金子さん：経験者として、助けてあげたい気持ちで聞きました。子育ては楽しいものではない。振りかかってみてよかったと思うものです。
- ・提案内容を伝えるプレゼン能力が重要になっていくので心して準備しよう。
- ・楽しみです。
- ・芦屋に笑顔があふれるそうです。頑張ってください。
- ・川村さんの事業は、個人が自己の人生を re-evaluation する機会を提供するという点で、コラボできる気がします。よろしくお祈りします。幸せは結局ナラティブの良し悪しですね！
- ・個々のグループでがんばるのではなく、芦屋の為にというテーマで集まり互いの力を発揮させましょう。
- ・廣田さん昨日社団法人になられたとの事、応援しています。
- ・白濱さんへ世界を丸くするために大切なことだと思いますので、がんばってください。
- ・このイベントに参加して良かったと思えるくらい、アイデアやプレゼンの仕方などが参考になりました。
- ・夢のある芦屋のブランド応援します。
- ・皆様のプレゼンすばらしい！！特にブランディング芦屋、頑張ってください。8番の「ととのう」サポート 家族だけでなく国の問題でもある。
- ・ボッチャの阿部氏、ヒトハナの相互理解
- ・すばらしい国際人としてがんばってください。芦屋の街をよろしく！
- ・夢と創造が無限でとても刺激的でした。

## 9 振り返り

- ・担当者が新型コロナに感染し、急遽当日の担当者が変更になったため引継ぎがうまくいかず、プレゼンターとの打ち合わせが当日になってしまった。プレゼン内容の打ち合わせがもう少しできていたら、良いプレゼンになっていたのではないかと思った。
- ・事前申し込み無しで、当日参加した方がかなりいた。
- ・プレゼンターによっては、支援者を集め投票してもらうことで共感ポイントと集める行為が見られた。
- ・今年度は、会場参加のみにしたことでプレゼンターの想いが直接聞くことができ、その後、聴衆者とプレゼンターの交流ができた。

- ・プレゼンター募集及び締切がタイトであったため、支援が上手く回っていなかったことや、事前準備などの不備など多々見直すべきところがあった。来年度の課題だ。市民参画・協働推進課の協力が大変助かった。

以上



